

教育民生常任委員会 所管事務調査 報告書

1 開催日時

令和6年7月8日（月曜日）午前9時54分～午前11時13分

2 開催場所

富谷市役所302会議室

3 出席委員（6名）

委員長 浅野直子

副委員長 伊藤嘉樹

委員 須藤 義

委員 荒谷 敏

委員 長谷川 る美

委員 出川 博一

4 欠席委員（なし）

5 説明のため出席した者（5名）

保健福祉部長

松原 誠

長寿福祉課長

横田 善和

長寿福祉課長補佐

奥山 晴基

保健福祉総合支援センター所長

大谷 江里子

保健福祉総合支援センター副所長

伊東 大助

6 事務局職員出席者（1名）

副参事 富澤 裕

7 調査事項

高齢者健康施策について

8 調査報告

第9期介護保険事業計画にある「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」は50項目に基づいて推進されています。各担当課による定期的な合同会合の開催により、特に国保のデータベースシステムの分析結果から地区ごとに健康課題を共有し、事業に生かす取り組みを展開しています。

本市の高齢者の人口推計は、社人研数値では2050年には75歳以上が2.2倍になるなど健康寿命延伸に繋がる施策が重要です。

そのことを踏まえ年代を問わず健康づくりへ意識改革や若いうちから健康教育も重要であり、委員会で視察調査した他の自治体の市民が参加しやすい「健康ポイント事業」の展開など、より充実した内容で市民団体や民間企業との連携、企画の推進も考える必要があります。

また、介護保険給付費負担増と医療費の推移を注視すれば、今後の高齢者人口増に伴い介護サービス利用増も見えてきます。フレイル予防事業や生活習慣病の予防にも市民の関心度を高められる施策、デジタルを活用したアプローチ、何よりも健康で住み慣れた地域で生活出来る環境整備を委員会として、提言して参ります。

以 上

令和6年9月2日

委員長 浅野直子
